

第1回 選考採用試験（一般職係長級（技術系））

# 農林水産省九州農政局 業務説明会

九州農政局 生産部 生産振興課

## 所在

熊本市西区春日2丁目10-1  
熊本地方合同庁舎A棟

<https://www.maff.go.jp/kyusyu/>

スマートフォンからでも！

こちらから →

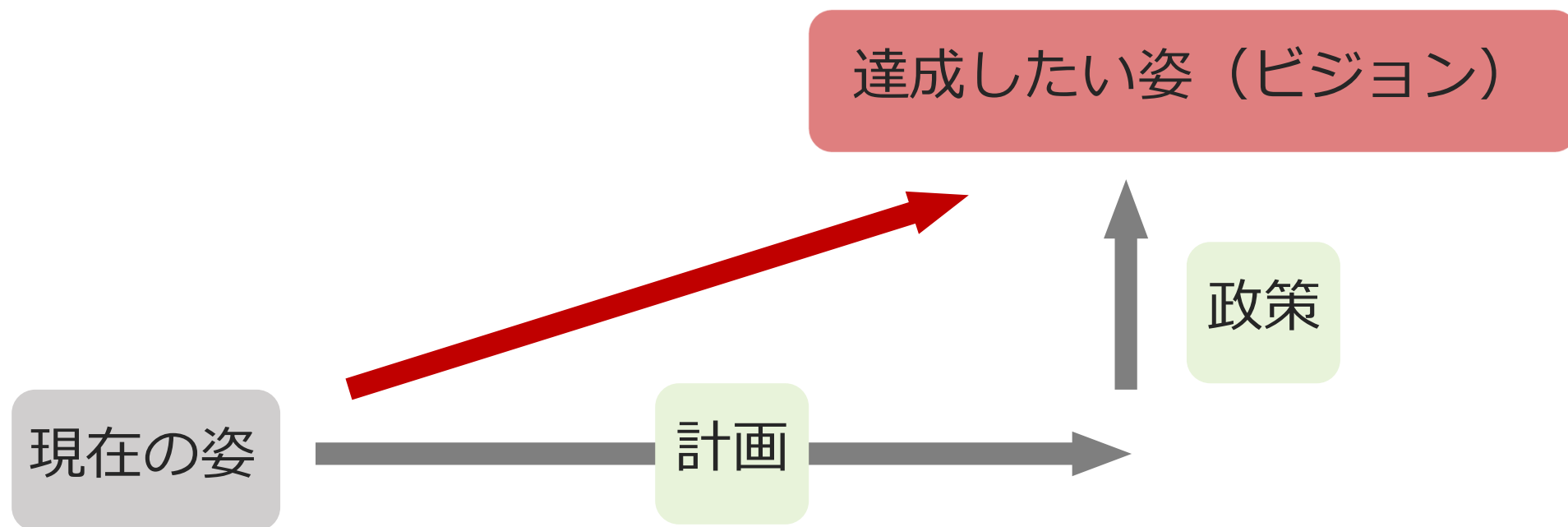


# 農林水産省は何のために存在しているか

## 農林水産省ビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、  
いのち  
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を  
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、  
常に国民の期待を正面から受けとめ  
時代の変化を見通して政策を提案し、  
その実現に向けて全力で行動します。

そもそも、国家公務員って何をやってるの？



- いわゆる「**社会をより良くする仕事**」
- ただし、地方自治体や民間企業も、社会を良くするために働いている。
  - 1. 使えるツール（**法律、予算、税制**）
  - 2. 「**日本全体**」の**利益**を考える役割

【違い】

# 私達の仕事のすぐ先に、誰かの暮らしがある

～農林水産業は国民の生命を支える代替のきかない産業～

## 食料安全保障

- ・食料の安定供給の確保
- ・農業の持続的な発展



## 農山漁村の活性化

- ・関係人口の創出
- ・世界に誇る和食文化の発信
- ・インフラの整備・保全



## 食の安全確保

- ・食品安全
- ・食育



## 水産政策

- ・水産資源管理
- ・水産物の消費拡大



## 農林水産業・食品産業の振興

- ・輸出促進・国際交渉
- ・各品目の生産振興
- ・日本発フードテックの創出



## 環境・技術政策

- ・環境負荷低減の取組
- ・AI・ドローン等のスマート技術の社会実装



## 森林・林業政策

- ・森林資源の循環利用
- ・花粉症対策



# 農林水産業の持続的な発展：みどりの食料システム戦略

## ①食料システムの関係者の理解の増進



食から日本を考える。  
**NIPPON FOOD SHIFT**

➢ 広報活動の充実

## ②技術の研究開発の促進



➢ 産学官連携の強化、研究者の養成等

## ③技術の普及の促進



➢ 栽培マニュアル等の情報提供や普及事業の展開

## ⑦環境負荷の低減に資する農林水産物等の消費の促進



➢ 消費者への適切な情報提供、食育の推進

## ⑧評価手法等の開発



➢ 脱炭素化等の定量化・評価手法（見える化）の検討

## ④環境負荷の低減に資する生産活動の促進



➢ 地力増進、化学肥料・化学農薬の使用低減、温室効果ガスの削減・吸収 など

## ⑥環境負荷の低減に資する農林水産物等の流通の合理化の促進



➢ ICT化、モーダルシフト、集出荷拠点の集約化等

## ⑤環境負荷の低減に資する原材料の利用の促進



➢ 原材料の生産等の状況に関する情報収集・提供

# 農林水産業の持続的な発展：テクノロジー活用

「農業」 × 「先端技術」 = 「スマート農業」

「スマート農業」とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のこと

## スマート農業の効果

### ① 作業の自動化

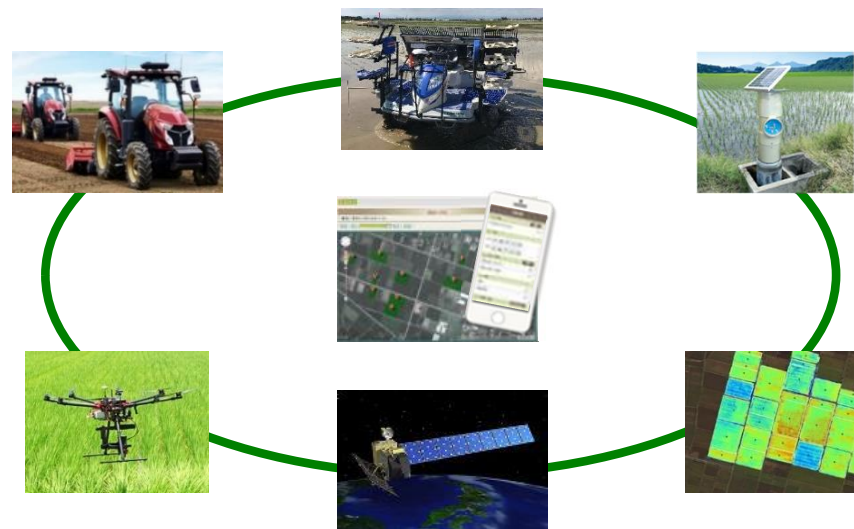
ロボットトラクター、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を自動化し人手不足の解消が可能に

### ② 情報共有の簡易化

位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に

### ③ データの活用

ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に



# スマート農業技術の実例

## ロボットトラクタ

- 有人－無人協調システムにより、作業時間の短縮や、1人で複数の作業が可能。



## 収量センサ付きコンバイン

- 収穫と同時に収量・水分量等を測定し、ほ場ごとの収量・食味等のばらつきを把握
- 翌年の施肥設計等に役立てることが可能



## 自動操舵システム

- 自動で正確に作業できるため、非熟練者でも熟練者と同程度の精度、速度で作業が可能
- 作業の重複幅が減少し、単位時間当たりの作業面積が約10～25%増加



## リモコン草刈機

- 急傾斜地等での除草作業が可能。



## ドローン/人工衛星

- センシングによりほ場間のばらつきを把握し、適肥やばらつき解消により収量が増加

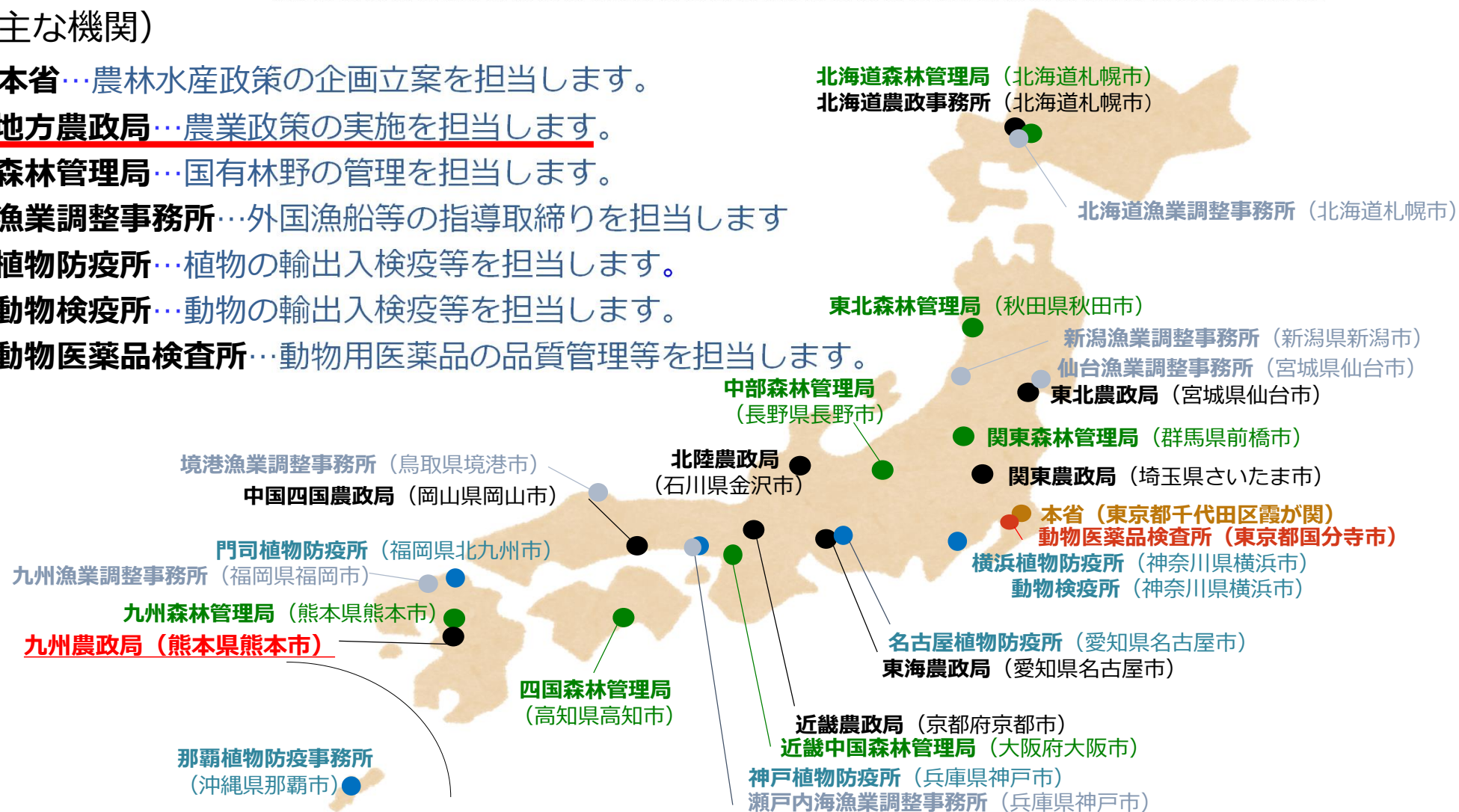


# 農林水産省の組織

農林水産省は、本省（約 5 千人）と全国の各地方ブロック機関（約 1 万 4 千人）で構成され、総定員数は約 1.9 万人です。

## （主な機関）

- **本省**…農林水産政策の企画立案を担当します。
- **地方農政局**…農業政策の実施を担当します。
- **森林管理局**…国有林野の管理を担当します。
- **漁業調整事務所**…外国漁船等の指導取締りを担当します
- **植物防疫所**…植物の輸出入検疫等を担当します。
- **動物検疫所**…動物の輸出入検疫等を担当します。
- **動物医薬品検査所**…動物用医薬品の品質管理等を担当します。



# 農林水産省の組織

農業技術系職員の主な配属範囲

## 本省

大臣官房

新事業・食品産業部

統計部

検査・監察部

消費・安全局

輸出・国際局

農産局

畜産局

経営局

農村振興局

農林水産技術会議事務局

林野庁

水産庁

## 地方出先機関等

地方農政局（※）

森林管理局

漁業調整事務所

植物防疫所

動物検疫所

動物医薬品検査所

農林水産政策研究所

（※）北海道（札幌）、東北（宮城）、北陸（石川）、関東（埼玉）、東海（愛知）、近畿（京都）、中国四国（岡山）、九州（熊本）の8か所

# 農林水産行政の流れ

## 政策の企画・立案（主に本省）

## 政策の実行（主に地方農政局、 北海道農政事務所）

- ・課題の設定
- ・基本的な方針の作成

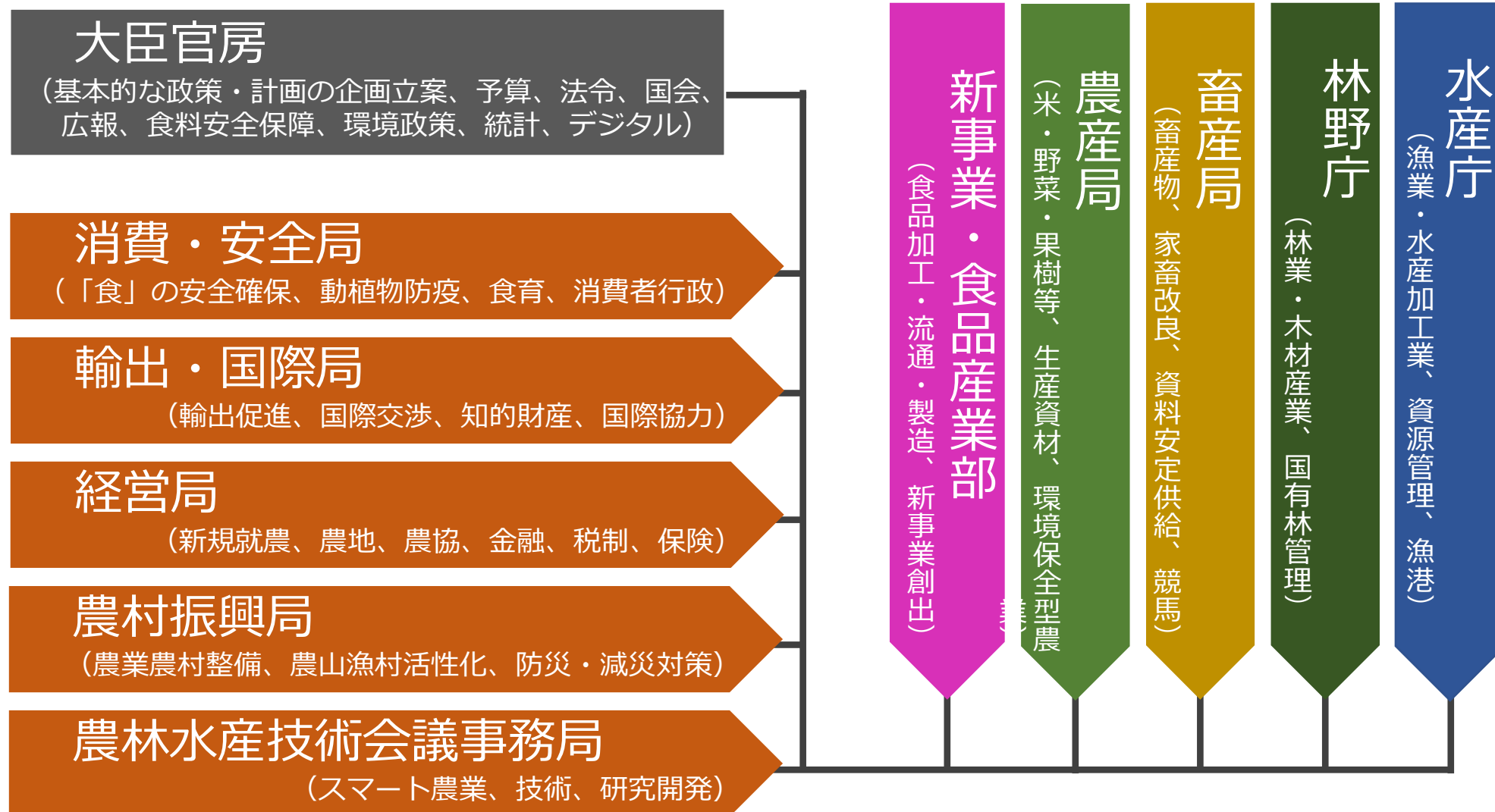
- ・政策手法の検討  
（法令、事業等）

- ・政府内、外部との調整
- ・法令作成、予算の確保

- ・政策の現場への周知
- ・法令、事業等の執行  
（検査、交付等）

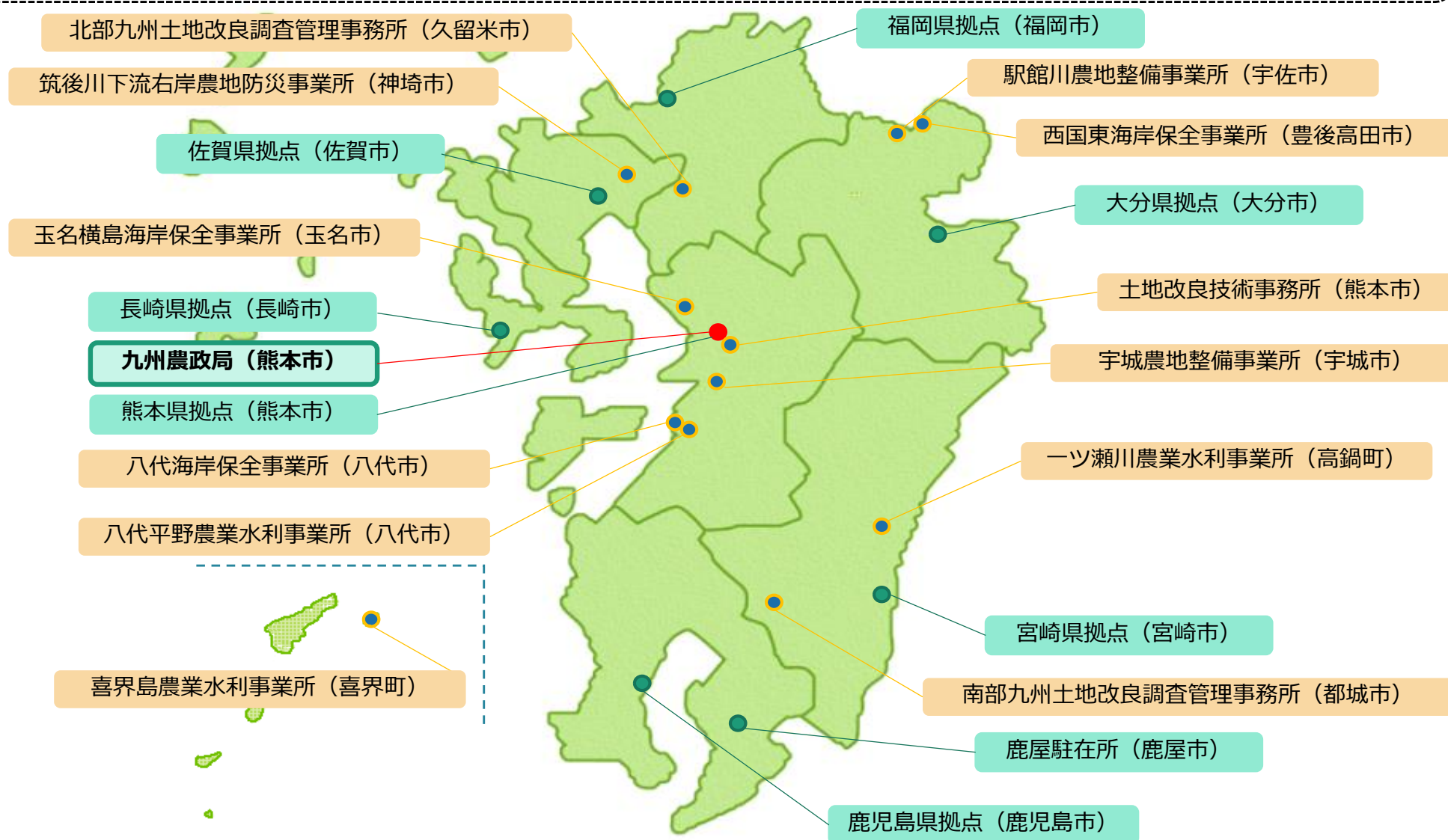
- ・政策情報の収集
- ・現場の問題点の把握

# 本省の各部署の役割



# 九州農政局の組織（R8.5現在）

九州農政局は、本局の約590人と各県拠点や事業所の約540人とで構成され、総定員数は約1130人です。  
（ほかに再任用職員：約280人 非常勤職員：約170人）



# 九州農政局の組織

## 本局

企画調整室

総務部

消費・安全部

生産部

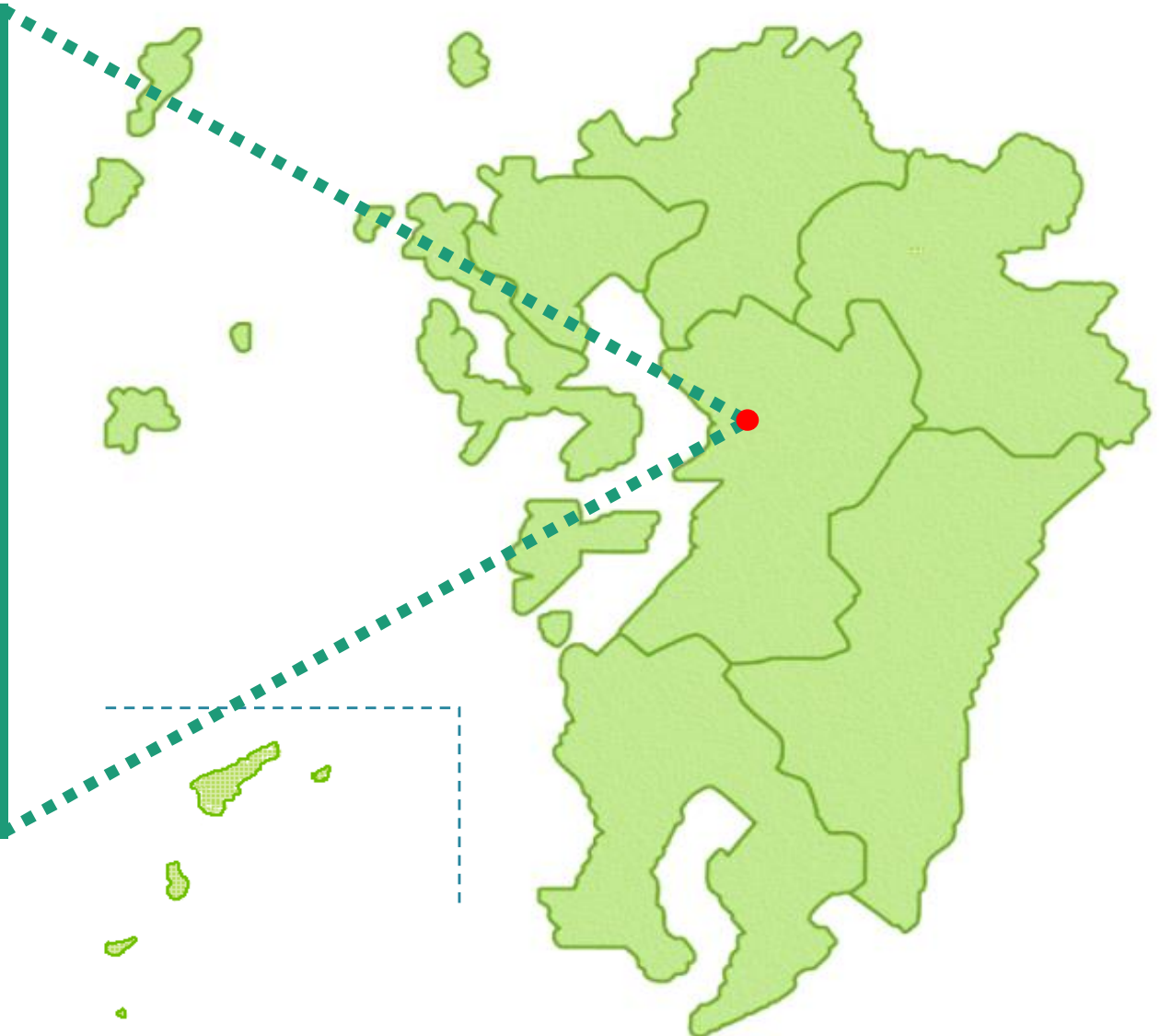
経営・事業支援部

農村振興部

統計部

## 各県拠点

## 国営事業所



# 九州農政局での農業技術系職員の主な配属先

## 生産部

- 米・麦・豆類・野菜・果実など主要農作物及び畜産物の生産・流通の改善等に関する指導
- 米の需給調整 ■ 環境保全型農業の推進 ■ みどりの食料システム戦略の推進
- 経営所得安定対策 ■ スマート農業 ■ 生産資材（肥料、燃料、飼料）高騰関連

米・麦・豆類・野菜・  
果樹など農産物の生産・  
流通の改善等に関する指導



畜産物の生産・流通の  
改善等に関する指導



スマート農業の推進



みどりの食料システム  
戦略（環境保全型農業）  
の推進



# 九州農政局での農業技術系職員の主な配属先

## 消費・安全部

- 食品の安全性向上
- 食育の推進
- 食品表示の適正化
- 農産物の安全確保
- 植物防疫対策
- 家畜疾病対策
- 肥飼料・動物用医薬品・ペットフードの安全確保

食育の推進



食品表示の適正化



植物防疫対策



家畜疾病対策



# 九州農政局での農業技術系職員の主な配属先

## 経営・事業支援部

- 担い手の育成・確保
- 新規就農の促進
- 女性・高齢者の活動促進
- 農林水産物・食品の輸出促進
- 地理的表示（G I）・知的財産の保護・活用
- 食品等の取引適正化
- 食文化の保護・継承
- 農地集積・集約化

### 新規就農の促進



### 農林水産物・食品 の輸出促進



### 食文化の保護・継承



### 農地集積・集約化



# 九州農政局の組織

## 農村振興部

- 農山漁村の活性化対策（農泊、農福連携、6次産業化、地産地消、情報通信）
- 中山間地域等の振興 ■ 棚田の振興 ■ 鳥獣害対策 ■ 土地改良区の指導・監督
- 農地転用許可 ■ 農業農村整備事業の調査・計画・実施

### 農業農村整備事業の 調査・計画・実施

農業用ダム



パイプラインの埋設



### 農山漁村の活性化対策

廃校を活用した農泊施設



農福連携の取組(作業風景)



### 中山間地域等の振興

農村RMOの取組



棚田遺産



### 鳥獣害対策

侵入防止柵の設置



ジビエ利活用拡大



# 働く環境について

## 充実した研修



- ・職階別研修  
(新規採用者向け、昇任前後など)
- ・能力開発研修  
(語学、IT、政策など)

## サポート制度



- ・メンター制度(1年目職員)
- ・メンタルチェック(～10年目職員)
- ・定期的な面談

## 平均年休取得 (R6)

15.5日



- ・15分単位で取得可能
- ・月1年休の取得を推進
- ・他、夏季休暇(3日)など

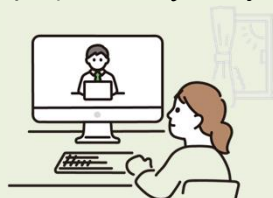
## 超過勤務 (本省R6)

22.0時間/月



- ・勤務時間は7時間45分/日
- ・超過勤務時間は**減少傾向**
- ・水、金曜日は定時退庁日

## テレワーク フレックスタイム制



働く時間、場所を柔軟に変える  
ことで仕事と家庭を両立

## 育休取得 (R6)

男性 86.9%

女性 100%



# 九州農政局チャレンジチーム

農業の課題解決に向けて若手ならではの視点から様々な活動・挑戦(チャレンジ)をしている、**若手職員有志**によるチームです。活動内容はチーム内で議論を重ねて決定するので、若手のうちから農業が抱える課題について意見を交わし、その解決に向けて主体的に取り組むことができます。

## 【令和7年度取組例：AGREAL（アグリアル）】

令和7年度は熊本県内の大学生と若手職員と一緒に農業体験を行う中で農業のリアル（魅力や大変さ）を学ぶイベントを、「AGREAL（アグリアル）」と題して企画・実施しました。

次世代を担う「大学生」と生産・加工・流通・消費の現場を訪れ、農業の魅力を伝えるとともに、若手職員が自ら考えチャレンジしていることが、日本農業新聞や地元のテレビ等でも大きく取り上げられました！



チャレンジチームの  
詳しい活動内容はQR  
コードから！



現場に行かなきゃ  
分からないことがある。

気候変動、食料安全保障、後継者不足、農村地域の衰退……。いま、農業は数多くの課題に直面しています。

しかし、農業には、実際に体験してみても初めて気づく面白さや可能性がたくさんあります。

農場に足を運び、自分の目で現場を見て、肌で感じ、日々農業に情熱を注いでいる生産者の方々と語り合えば、農業の真の奥深さを学べます。

そして、その奥深さに気づいたとき、あなたがこれまで農業に抱いていたイメージはきっと変わります。

AGREALは、そんな「農業のリアル」を体験できる機会を学生に提供するとともに、農業の魅力を発信する、九州農政局若手職員発のプロジェクトです。

農業のリアルを知る。伝える。

農林水産省 学生参加型プロジェクト  
九州農政局チャレンジチーム アグリアル R7

**AGREAL**  
A G R I C U L T U R E × R E A L

九州農政局チャレンジチームとは？  
農林水産省の地方機関である九州農政局の若手職員有志で構成されるチームです。人材育成及び部局横断の取組推進を目的に設置されました。若手ならではの視点から農業の魅力を広く一般に発信するための活動を行っています。

プロジェクトの詳細などは二次元コードから  
お問い合わせは下記の電話番号もしくはメールアドレスまで。  
TEL：096-211-9111（代表）MAIL：challenge\_kyushu@mail.go.jp

2025年10月27日現在 VER.2.001

# BUZZ MAFF (ばずまふ)

農林水産省職員自らが、YouTuberとなり担当業務にとらわれず、**スキルや個性**を活かして、農林水産省や日本の農林水産業の魅力を発信するプロジェクトです。



～農林水産省あるある～  
196万 回視聴・4 年前



農水省から皆様へのお知らせ  
111万 回視聴・5 年前



【よかとこ九州×テゲバジャーロ宮崎】プロとガチPK対決。地域を支える子ども食堂の取組とは。  
9135回視聴・13 日前



農水省職員は何カ国語話せるの? 9135回視聴・13 日前



【よかとこ九州】農林水産省あるある動画～事業所編～



詳しくはQRコードから！

「BUZZMAFF」でも検索してみてください！

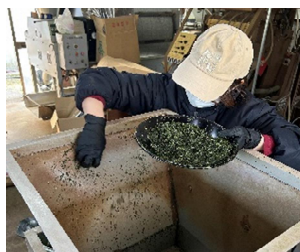


農林水産省 BUZZMAFF

検索

# 人材育成・研修 ～農村現地研修～

- 九州管内の農家のもとに、2週間程度**農家の一員として働き**、受け入れ農家で衣食住を共にします。（入省2年目職員が中心）



研修受入農家（例）  
・花き（洋ラン）  
・お茶  
・カスミソウ  
・トマト など

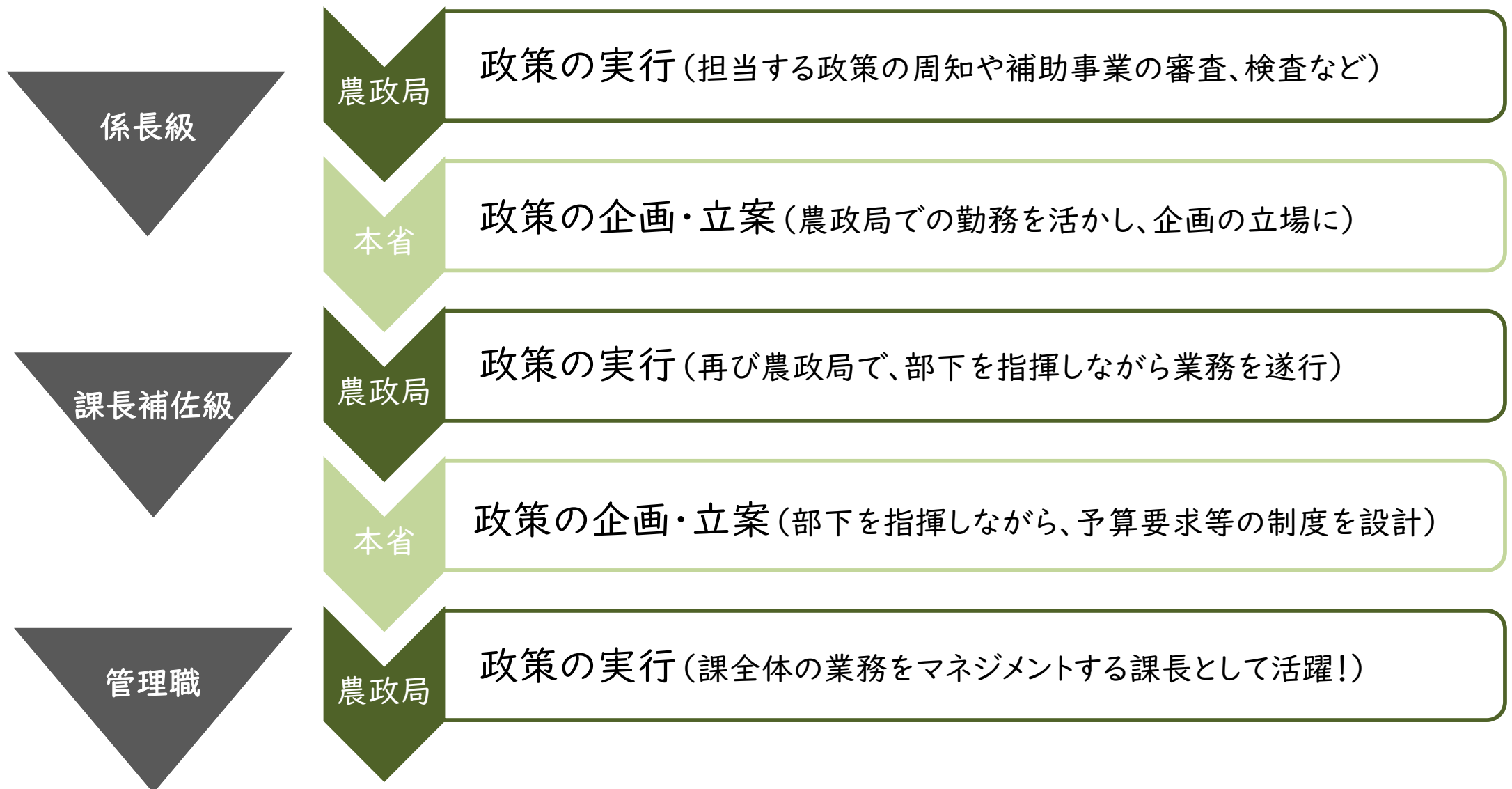


農家の一員として働くので、**農村地域の抱える課題、農水省の政策の現場での受け止められ方**などをリアルに見ます。

- このほか、能力向上、知識習得のため、**ITパスポート研修、語学研修、担当業務（食品安全、統計、会計など）に関する研修**など様々な研修があります！

# 一般職農業技術系のキャリアイメージ

- 希望された農政局と本省（霞が関）を中心におおむね2～3年程度で異動します。
- 人事異動に際し、職員の希望を定期的に聴取しています。



# 募集職種と業務分野

## 農業技術系

### 【生産部】

生産振興課  
環境・技術課  
園芸特産課 など



### ●業務内容●

- ・農作物の生産振興
- ・スマート農業等の農業技術の普及
- ・環境対策の推進
- ・新規就農支援
- ・農業分野の環境政策推進 など



## 畜産技術系

### 【生産部】

畜産課 など



### ●業務内容●

- ・畜産物の生産振興・輸出促進
- ・自給飼料の生産拡大
- ・畜産分野の環境対策の推進
- ・動物及び畜産物の輸出入検疫 など

## 消費安全系

### 【消費・安全部】

農産安全管理課 など

### ●業務内容●

- ・農畜水産物・食品の安全性向上
- ・農薬使用の指導
- ・食品表示の適正化
- ・食育 など



# 応募資格

学校教育法（昭和22年法律第26号）における大学、短期大学、高等専門学校、専修学校又は高等学校を卒業した者及びこれらと同等以上の学力を有すると認められる者で、民間企業、官公庁等における職務経験（2026年4月1日現在で、大学を卒業した者は7年以上、短期大学、高等専門学校又は専修学校を卒業した者は10年以上、高等学校を卒業した者は12年以上）を有する者。

## 【注意】

- 当該資格を満たしているかについては、1次選考時に提出いただく職務経歴書と内定後に提出いただく就労証明書等で確認させていただきます。就労証明書等をご提出いただけない期間は、職務経験に通算されませんのでご注意ください。
- 就労証明書等を提出できない場合や虚偽の記載がなされている場合は、採用を取り消す場合があります。

# 給与

一般職の職員の給与に関する法律（昭和25年法律第95号）に基づき支給されます。

採用時の俸給月額、採用者の経験年数と同程度の経験年数を有する、行政職俸給表(一)の一般職試験区分が適用される当省職員の俸給月額を参考に、採用される官職の職務内容並びに採用者の経歴・能力等を考慮して決定します。

【参考：一般職係長級・大学卒・37歳の例】

15年程度の経験年数を有する場合の給与  
俸給月額 約31万円

# 手当

(令和8年4月以降)

| 手当の種類         | 内容                                                                                                |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域手当          | 東京都特別区20%（本俸及び扶養手当に対して支給）                                                                         |
| 本府省業務調整手当     | 月額19,500円（行政職俸給表（一）3級の場合）<br>（本府省の業務に従事する者のみ）                                                     |
| 扶養手当          | 子（22歳以下）一人につき月額13,000円<br>（15歳から22歳の間は一人につき月額5,000円加算）                                            |
| 住居手当          | 家賃月額に応じて最大28,000円                                                                                 |
| 通勤手当          | 原則、通勤定期券の価額で決定                                                                                    |
| 期末・勤勉手当（ボーナス） | 4.65ヶ月分（俸給及び地域手当に応じた単価で支給）                                                                        |
| 単身赴任手当        | 採用や異動等に伴って住居を移転し、やむを得ない事情により同居していた配偶者等と別居して単身で生活することとなった職員に支給<br>（支給距離に応じた額（月額、30,000円～100,000円）） |

# 選考スケジュール

## 受付期間

2026年7月31日(金)～2026年10月13日(火)12時

①履歴書及び職務経歴書、②小論文

を採用を希望する地方農政局等の担当者宛にメールでご提出ください。

## 1次合格

2026年10月28日(水)

- ・合格者にのみメールで通知します。
- ・2次試験の日程は、後日メールで連絡します。

## 2次試験

2026年11月24日(火)～12月6日(日)のうち指定する1日

応募された地方農政局等で面接試験になります。半日～終日かかります。

## 合格発表

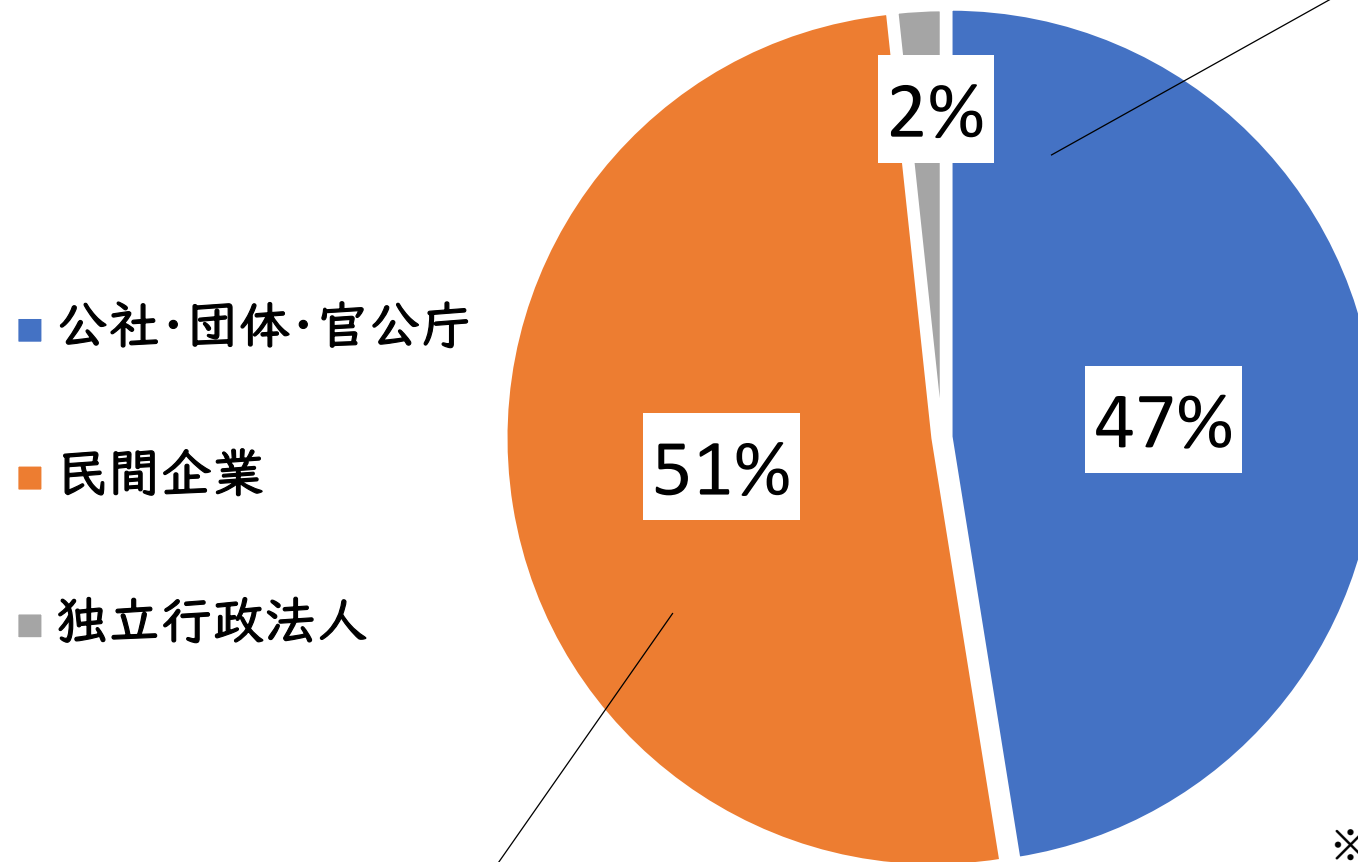
2026年12月14日(月)

- ・合格者にのみ電話またはメールで通知します。

※社会情勢等により、日程は変更となる可能性があります。

# (参考) 選考採用職員(一般職技術系)の前職

他省庁、県庁、市役所・区役所・町役場、大学、研究機関など出身は多岐に渡ります!



※ 集計対象はR5~R7入省者

食品メーカー、化学メーカー、コンサル、農協、IT企業、建設会社など業種は様々!

# 選考採用者職員紹介



## Y.Y.さん

- ・一般職農業技術系、R6入省
- ・宮崎県出身
- ・前職：JA関係

### キャリアパス

令和6年4月～ 九州農政局生産部生産振興課

(業務概要)

令和6年4月～ 米穀の需要に応じた生産・販売の推進に関する業務  
令和8年4月～ 大豆の生産推進に関する業務

### 業務内容

○米の需給調査

・米の需給動向が大きく変化したこの2年。米の流通実態把握のため、数多くの調査を実施。突発的業務は、部全体のチームプレーにより円滑に業務を遂行。

○米・麦・大豆の生産振興に係る補助事業事務

・共同乾燥調製施設の整備や農業機械の導入など各種補助事業の事務を対応。事業の要綱や要領の理解に現在苦戦中。

8:15 出勤・始業

12:00 昼休憩（アミュでランチ）

17:15 退勤

🍱 ランチ事情 🍱

食堂は、B棟の1階にあり、定食、うどんやラーメンなどが提供されています。合同庁舎外で食べることも可能で、気分転換を兼ねて、アミュプラザくまもとのフードコートや飲食店で毎日違うランチを楽しむことができます 🍴

### 就活体験記

希望  
配属先

志望理由

採用の  
流れ

結婚を機に、JA宮崎経済連を退職し熊本へ移住。前職での経験を活かすことができること、またスキルアップできる環境であることに魅力を感じ、農林水産省を志望。

【1次選考試験：小論文と職務経歴書】

小論文のテーマは、①前職での挑戦とその成果について、②農林水産省職員としてどのような貢献ができるのか。

【2次選考試験：面接】

複数の面接官と各15～20分程度の面接。順番に呼ばれ、指定された部屋に出向いて面接を受けるスタイル。

聞かれた内容は、前職の職務内容：50%（成功事例や苦労したことなど）、農林水産省でやりたいこと：30%、ライフスタイルについて：20%。1対1の面接であったため、会話をするようリラックスした雰囲気であった。

### 九州農政局のここがイイ！

1. 基本、定時退庁
2. 土日祝日完全休業
3. 業務時間外の電話なし（業務用携帯不要）
4. テレワーク推奨
5. 年次休暇（有給）の積極的な取得が可能
6. 特別休暇の充実（子の看護休暇：年5日、短期介護休暇：年5日/人 など）
7. 福利厚生サービスの充実（宿泊費、映画観賞料、観光施設利用料割引など）

### 最後に

小さな子供を持つ方でも、テレワークや子の看護休暇を活用することにより、自身のキャリアを諦めることなく、家庭との両立が可能です。

九州農政局における選考採用は本年度で7年目となり、一定のキャリアパスを経た職員も多数存在するため、困りごとなど安心してお尋ねください。

# 選考採用者職員紹介



## N.S.さん

- ・一般職農業技術区分、R4入省
- ・大阪府出身
- ・北海道大学大学院 水産科学院

### キャリアパス

令和4年4月～ 本省農村振興局鳥獣対策・農村環境課鳥獣利活用推進班  
(業務概要) ジビエの衛生管理・利活用推進

令和6年4月～ 本省経営局就農・女性課企画班  
(業務概要) 新規就農の企画法令業務・国会対応

令和8年4月～ 九州農政局生産部農産係  
(業務概要) 水稻・ソバ等の振興・補助金業務等



### 業務体験談

最初の2年は、農作物被害をもたらす野生鳥獣(シカ・イノシシ)のジビエ利用推進や、厚労省と連携しジビエの衛生管理指導を行いました。

次の2年は、新規就農施策の企画、各種法令改正、国会対応等、課の総括業務を行いました。

現在は九州農政局で水稻の推進、各種調査業務、補助金業務を行っています。(残業が少なく、ワークライフバランスは非常に良いです。)

### 九州農政局

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 8:30  | 出勤<br>メールチェックなど                |
| 10:00 | 補助金申請チェック<br>県からの問い合わせ<br>対応など |
| 12:00 |                                |
| 15:30 | 打合せ、外勤など                       |
| 17:15 | 退勤                             |

### 就活体験記

#### 前職

前職では、北海道産の畜産物(牛肉、豚肉)の営業・枝肉市場の運営をしており、全国を毎週飛び回っておりました。充実はしていましたが、完全な縦割り組織で、定年までずっと畜産業務であることから、「畜産だけではなく、多様な農業に関わる仕事がしたい」と思い、転職を決意しました。

#### 転職のきっかけ

#### 入省後のリアル

キャリアパスとして本省勤務も今後発生すると思います。本省は、作業が次々に舞い込んでくるのでマルチタスク能力が求められますが、政府全体の動きを肌身で感じながら業務ができ、自身の業務が農業の未来に直結していく感覚は、民間企業では味わえない感覚なのでゾクゾクします。

一方、農政局は特定の業務に集中して取り組める環境で、農業者と接する機会も多く、より現場目線の感覚を養うことができます。そして何よりも**残業が少なく、有給休暇も取りやすく、テレワークもしやすいので、多様な働き方を実現でき**ると思います。

### 休日の過ごし方

趣味のスキューバダイビング・バイクを楽しんでおります！阿蘇はバイク乗りの聖地なので、様々な農作業風景を見ながらツーリングするのが最高です。

また、3日間の夏季休暇を活用して長期連休を取得し、沖縄でダイビングを楽しむのが毎年の恒例行事です！



### 農水省への転職を考えている方へ

入省当初は公務員特有のお作法や業務の進め方に戸惑うかもしれません。ですが最近は経験者採用も進んでおり、職場には様々な業種からの転職者がたくさんいますので浮くことはありません！安心して飛び込んでください！ぜひ一緒に働きましょう！